

地域と学校が連携・協働して、地域全体で子ども の学びや成長を支える 「地域学校協働活動」の取り組み「こども応援 団」に登録しませんか

岡社会教育・文化振興課 ☎・FAX(582)1142 FAX(582)9441



ピックアップ

地域学校協働活動の取り組みとは

近年、子どもを取り巻く環境の複雑化、地域のつながりの希薄化が課題となっています。そうした中、本市で取り組んでいる地域学校協働活動は、保護者や地域住民が参画して、地域全体で子どもの学びや成長を支える取り組みです。地域に見守られながら豊かな体験を重ねることは、子どもたちが自分たちの住む地域を大切に思い、「将来、地域に貢献したい」と願う心を育むことにつながります。

活動を通して、地域コミュニティや地域活動の活性化にもつ



吉身小
わくわくイベント(サポート)



守山南中
図書作業(ブッカー)研修(体験)



玉津小
町たんけん(講師)



守山北中
河西学区DIG訓練(生徒参加)

ながることを目指しています。本市では、令和6年度から、「いづれも応援団」に登録していただきます。本市では、保護者や地域住民など、地域学校協働活動に関わってくださる人々を「こども応援団」と呼んでいます。

「いづれも応援団」に登録してください

地域と学校をつなぐ窓口となる「校区の公民館」と連携してすべての市立小中学校で取り組みをスタートしました。

取り組みで期待される効果

子どもにとって

- ・多様な体験を通じ、学習意欲や関心が高まります。
- ・自分たちのために活動する地域の大人たちの姿を通して、感謝の気持ちが深まります。
- ・多くの大人と接することで社会性が育ち、地域の一員としての自覚が深まります。

先生や学校にとって

- ・地域住民との協力を通して、教員自身が地域の良さを知り、視野が広がります。
- ・地域と学校との協働で、円滑な学校運営やより豊かな授業・活動づくりにつながります。

地域にとって

- ・地域の子どものことが分かり、世代間交流やつながりが深まります。
- ・経験や特技を生かして学校や子どもに関わることで、充実感を得られます。

こども応援団の活動例

- ・ゲストティーチャー
- ・九九の聞き取りなどの学習支援
- ・学校図書館サポート
- ・休み時間の自由遊びの見守り
- ・登下校、校外学習時の安全見守り
- ・校内ピクトプの整備
- ・学校行事や、地域活動参加へのサポート



左から、横山 勇一さん(校長)、明山 雅子さん(教頭)、こども応援団の皆さん、齋藤 美幸さん、林 浩太郎さん、北村 草さん、上路 愛子さん、高倉 直子さん、野田 佳代さん(中洲公民館 職員)



こども応援団との懇談

仕事柄や学区の役職、子どもや孫がお世話になっているなど、

公民館を通じて活動も気軽に

前年から小学校と関わっていた人も、改めて小学校に関わりはじめて人もいます。

中洲小学校の「いづれも応援団」

令和6年度の取り組み開始以来、「こども応援団」として30近い個人・団体の登録があり、盛んに活動している学校の一つです。こども応援団、小学校教員、公民館担当者に話を伺いました。

中洲小学校「こども応援団」の活動と魅力

私たちはたまたま小学校と接点がありました。「子どものために何かしたい」というときには、身近な公民館が窓口であれば、接点の少ない地域住民も相談や登録がしやすいですし、気軽さが増したように思います。

教育の現場を間近に感じて

授業の補助に行くと、子どもには一人ひとりの間合いや距離感、成長過程があり、関わりながら心身が成長していくのが分かります。ボランティアなら「感動した」で終わりますが、毎日たくさん子どもと向かい合う先生の大変さも実感します。

こども応援団として学習の支援や学校行事のサポートなどを通じて子どもたちを見ていくと、学習時間の学びだけでなく、掃除の仕方や校外学習でのバスの乗り方、登下校など生活の中にもたくさん学びがあることに気づきました。

先生にしかできないことは先

生に、私たちはできることでサポートしようと改めて思いました。子どもたちを応援することには、先生を応援することにもつながると思います。

子どもの姿に感動と喜び

こども応援団の活動の喜びは、やはり子どもたちの姿や成長を間近に見られることです。

中洲小学校ならではの「野洲川マラソン」では、子どもたちがタイムを縮めようと頑張る姿、遅れた友達を励ます姿、最後まで走りきった友達を称える姿に、手伝いに行った私たちの方が感動させられます。気負いや義務ではなく、「地域の子どもたちを育てる」という気持ちにさせてくれます。

学校に行くたびに子どもたちとの距離が縮まって、少しずつ信頼関係ができ、通学路や学校外でも元気に挨拶をしたり、声をかけてくれたりして、地域全体が明るくなるような気がします。地域と学校の距離が縮まるのと、先生も住民と親しくなり、地域の魅力を知り、その気持ちで学校や子どもたちへの指導にも良い影響になるのではないのでしょうか。